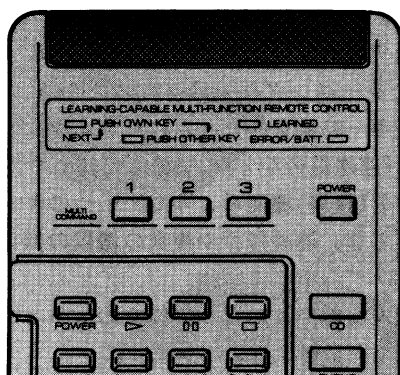


YAMAHA



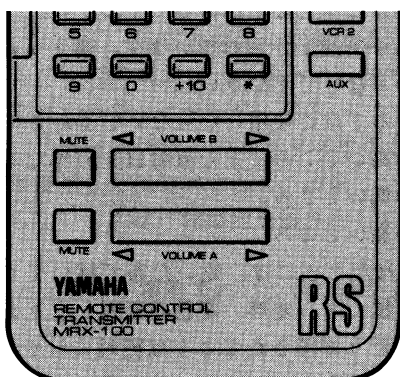
MEMORY MAX

マルチラーニング

リモートコントロールトランスミッター

MRX-100

取扱説明書



目次

お使いになる前に.....	1
乾電池の入れ方.....	2
各部の名称と動作.....	3
操作.....	5
故障かな、と思ったら.....	11
仕様.....	13
ヤマハホットライン サービスネットワーク.....	14

YAMAHA MRX-100 リモートコントロールトランスミッターをお買い上げいただきありがとうございます。

MRX-100は、複数のリモートコントローラーによるAV機器操作の煩わしさを解消し、一台のリモートコントロールトランスミッターで集中コントロールを可能にしたラーニング(learning: 記憶可能)リモートコントローラーです。記憶可能キー95個を配し、それぞれのキーの記憶容量がたいへん大きく、長い信号(連送信号など)の記憶も可能です。

また、マルチコマンド(連続)機能によって、1つのキーに最大15個までの信号を連続して記憶でき、連続操作や複数の機器の操作が1つの操作で可能になります。

記憶可能な信号方式も広範囲にわたり、従来のラーニングリモートコントローラーから一歩進んだ設計になっています。

■お使いになる前に

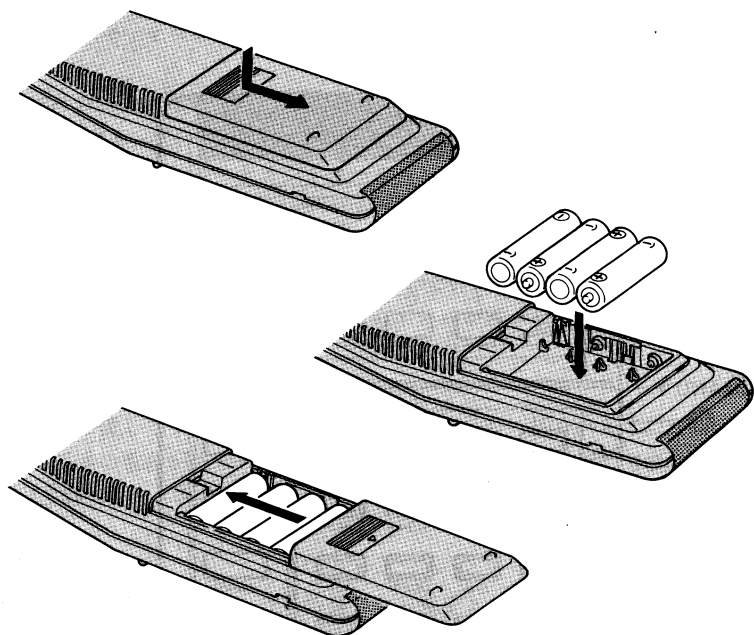
- 1 正しくご使用いただくために、この取扱説明書を良くお読みください。お読みになったあとは、必ず保存してください。
- 2 本機は精密な電子部品で作られています。落としたり、強くぶついたりして衝撃を与えないでください。
- 3 次のようなところではご使用にならないでください。
 - a 極端に温度の高いところ。また直射日光の当たるところ。
 - b 極端に温度の低いところ。
 - c 極端に湿度の高いところ。
- 4 MRX-100が汚れたときには、乾いた布で拭いてください。洗剤を含ませた布などで拭くと、変形、変色の原因となります。
- 5 ご自分で解体したり修理されることは絶対におやめください。不具合が生じたときには、YAMAHAの販売店かサービスセンターにご連絡ください。

ご注意

相手のリモートコントローラーの信号の形式によっては、MRX-100が使えない場合があります。

■ 乾電池の入れ方 / 交換

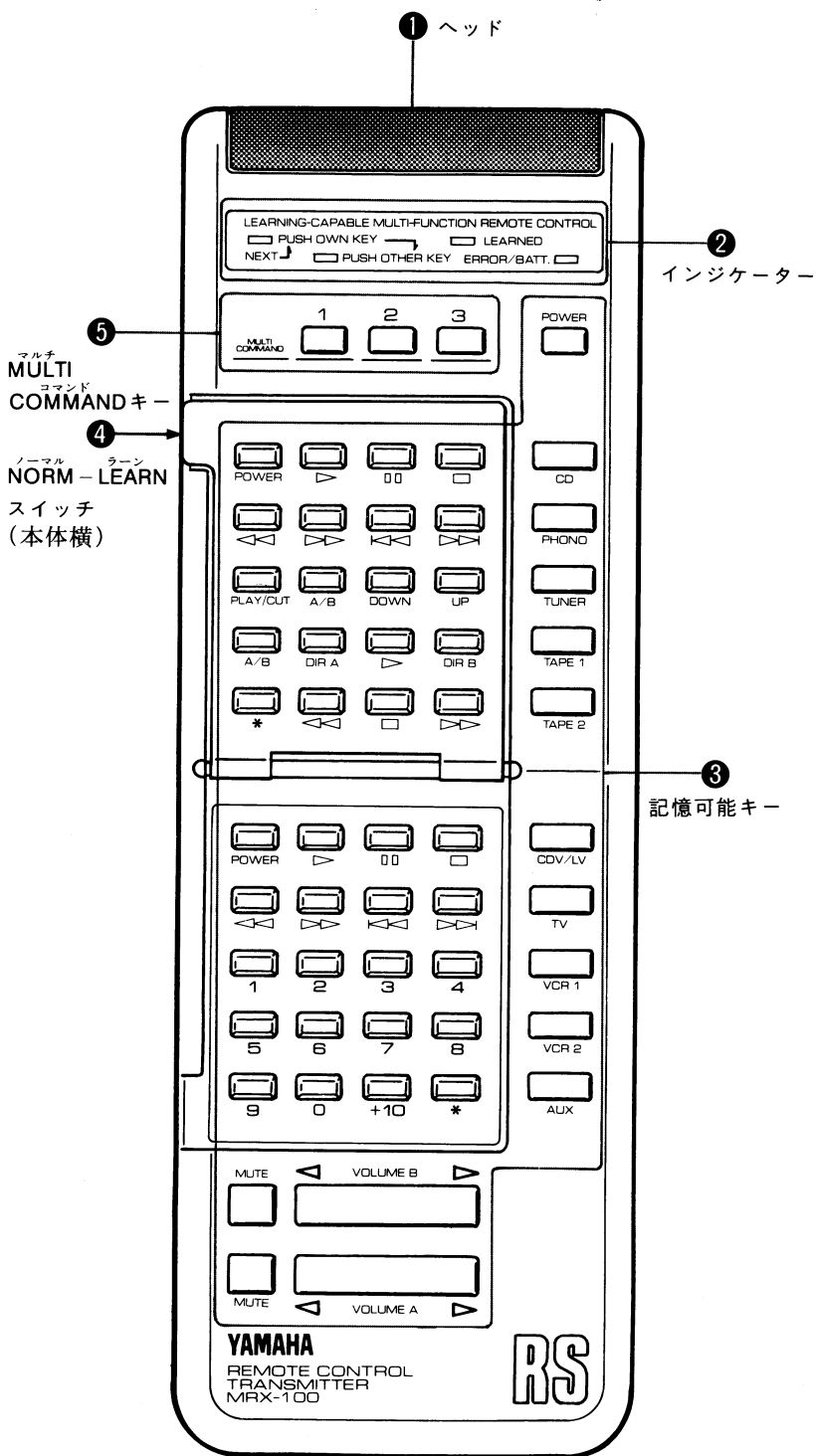
- 乾電池は下図のように入れてください。



- 乾電池の電圧が下がってくると、キーを押すとエラー バッテリーERROR/BATT.インジケータが3回点灯します。すぐに乾電池を交換してください。
- 乾電池の交換を行っているあいだに、メモリーしている内容が失われることはありません。しかし、乾電池が無い状態で長時間放置すると、それまでにメモリーしていた内容がすべて失われ、もう一度プログラムし直さなければなりませんので、注意してください。
- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを必ず正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

■各部の名称と動作



① ヘッド

MRX-100が赤外線を発信したり受信する部分です。

② インジケータ

^{プッシュ} ^{オウン} ^{キー}
PUSH OWN KEYインジケータ

^{ラーン}
LEARNモードのときに点灯します。この状態で、MRX-100上のプログラムしたいキーを押します。

^{プッシュ} ^{アザー} ^{キー}
PUSH OTHER KEYインジケータ

^{ラーン}
LEARNモードのとき、MRX-100上のキーが押されると約20秒間点滅します。この間に他のリモートコントローラーからの赤外線を受信すると点灯します。

^{ラード}
LEARNEDインジケータ

^{ラーン}
LEARNモードのとき、メモリーが正しく行われると約2秒間点灯します。
^{ノーマル}
NORMモードのとき、メモリーされたキーが押されると点灯します。

^{エラー} ^{バッテリー}
ERROR/BATT.インジケータ

何も記憶していないキーまたは2つのキーが同時に押されると点灯します。乾電池の電圧が下がってくるとキーを押した後3回点灯します。

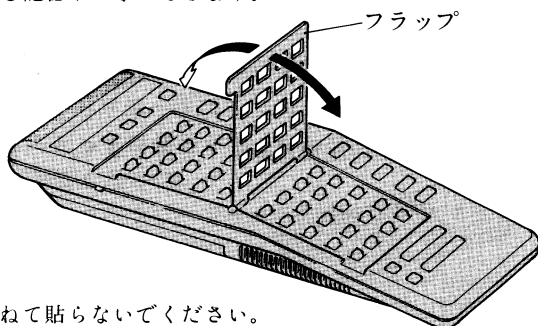
^{ラーン}
LEARNモードのとき、正しくメモリーが行われないと約2秒間点灯します。

③ 記憶可能キー

他のリモートコントローラーの信号を記憶するキーです。

それぞれキーの形状や位置によって、すでに機能の表示がついていますが、付属のシールを貼って、他のリモートコントローラーのキーの配置に合わせて表示を変える事もできます。

また、中央にある40のキーはフラップを前後に倒す事によって、1つのキーで2つの信号を記憶する事ができます。



シールは重ねて貼らないでください。

フラップが正しく閉じない場合があります。

④ NORM - LEARNスイッチ

^{ノーマル} ^{ラーン}
LEARNモードとNORMモードを切り換えます。

⑤ MULTI COMMANDキー(1、2、3)

連続予約をするキーです。

記憶可能キーに記憶した信号を最大15個まで連続して記憶する事ができます。連続動作や複数の機器の操作が1つのキーでできます。

これらのキーに直接ほかのリモートコントローラーの信号を記憶する事はできません。

■操作

●他のリモートコントローラーの信号を記憶するには

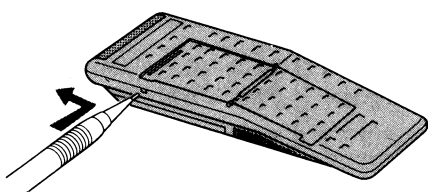
今、何台のリモートコントローラーをお使いになっていますか？

MRX-100には95個もの記憶可能キーがあります。

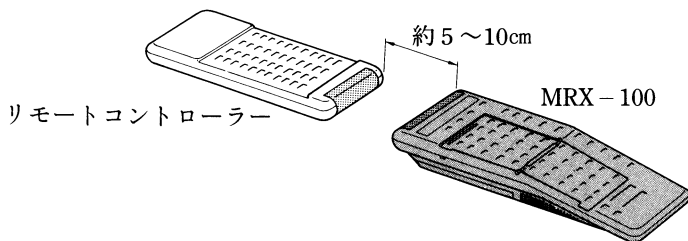
これらのキーに今まで御使用になっていた複数のリモートコントローラーと同じ信号を記憶させる事によって、MRX-100一台によるスマートなA/Vライフを楽しむ事が可能になります。

以下の手順に従って、MRX-100に他のリモートコントローラーの信号を憶えさせてください。

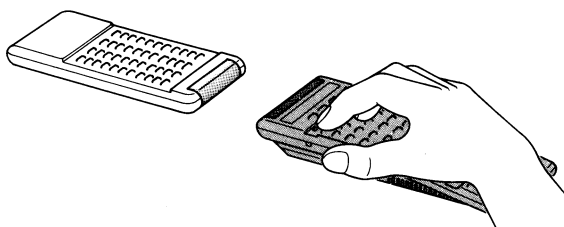
1. ^{ノーマル}NORM-^{ラーン}LEARNスイッチを^{ラーン}LEARNの位置にします。
^{プッシュ}PUSH ^{OWN}KEY ^{インジケータ}インジケータが点灯します。



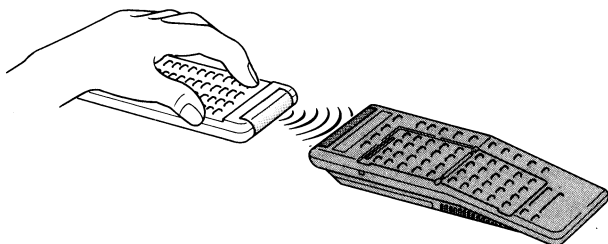
2. MRX-100のヘッドと、メモリーしたいリモートコントローラーのヘッドを向かい合わせの位置に置きます。



3. 記憶したいMRX-100上の記憶可能キーを押します。

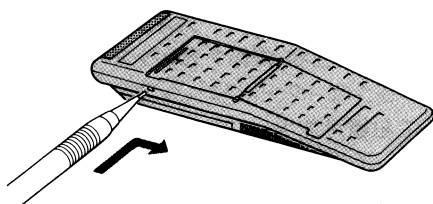


4. ^{プッシュ}PUSH ^{アザー}OTHER ^{キー}KEYインジケータが点滅します。この間にメモリーしたい相手のリモートコントローラー上のキーを押します。



相手のリモートコントローラーからの赤外線を受信するとPUSH OTHER ^{プッシュ} ^{アザー} ^{キー}インジケーターが点灯に変わります。このインジケーターが消えるまで、リモートコントローラー上のキーは押し続けてください。メモリーが正しく終了すると、LEARNED ^{ラーンド}インジケーターが約2秒間点灯します。すでに信号がメモリーされていた場合は、その内容が新しく書き変わります。メモリーが正しく行われなかった場合には、ERROR/BATT. ^{エラー} ^{バッテリー}インジケーターが約2秒間点灯します。もう一度操作し直してください。

- 3と4の手順を繰返して、操作を続けます。
- 記憶操作がすべて終了したら、NORM-LEARN ^{ノーマル} ^{ラーン}スイッチをNORM ^{ノーマル}の位置にセットします。



これで記憶操作は完了です。MRX-100を機器のリモートセンサーに向けて、操作してみてください。

注意

うまく記憶ができないとき、また記憶しても動作しないときは次の事項をチェックしてみてください。

- 相手のリモートコントローラーの電池が弱くなっている。
この場合、相手のリモートコントローラーで機器の操作ができて、MRX-100にとっては信号が弱くなっていることがあります。電池を交換してみてください。
- 相手のリモートコントローラーとの距離が近すぎるか遠すぎる。
- 直射日光などの強い光が当たっている。

もう一度試してください！

MRX-100は、相手の信号が長すぎるときは、自動的に記憶容量を2倍に拡大して次の信号を待ちます。もう一度記憶操作をしてみてください。

記憶容量が拡大されるとPUSH OTHER ^{プッシュ} ^{アザー} ^{キー}インジケーターが早く点滅します。

●マルチコマンドのしかた

記憶可能キーで記憶した信号をMULTI COMMANDキーに、最大15個まで連続して記憶することができます。

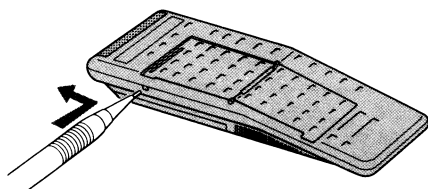
日常よく行なう操作、例えばビデオテープを再生する場合、以下の操作が必要になります。

1. アンプの電源をONにする。
2. ビデオデッキの電源をONにする。
3. モニターテレビの電源をONにする。
4. アンプの入力セレクターをVIDEOにする。
5. ビデオデッキをPLAYにする。

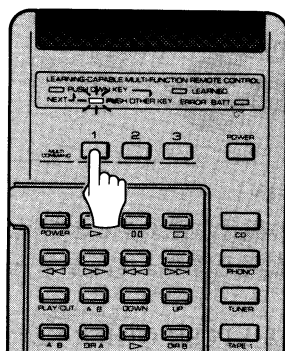
これらの操作をする信号を1つのキーに連続して記憶しておけば、あとはキーを1回押すだけで、全ての操作を行なってくれます。

以下の手順に従って記憶可能キーに入っている信号を、MULTI COMMANDキーに移してください。

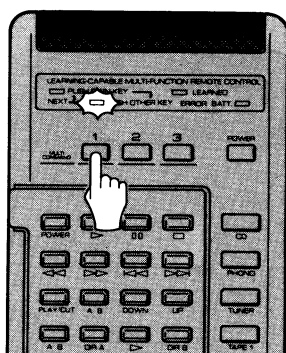
1. NORM-LEARNスイッチをLEARNの位置にします。PUSH OWN KEYインジケーターが点灯します。



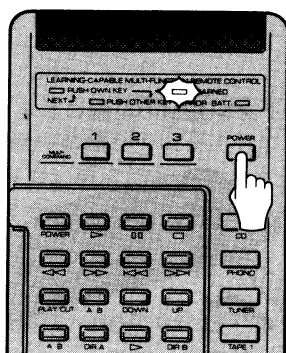
2. 連続操作に使いたいMULTI COMMANDキーを押します。PUSH OTHER KEYインジケーターが点滅します。



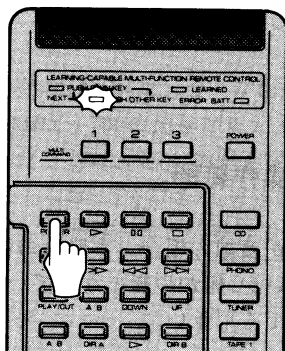
3. もう一度同じMULTI COMMANDキーを押します。PUSH OTHER KEYインジケーターが点灯に変わります。



4. 最初に操作したい信号(例えばアンプの電源ON)が入っている記憶可能キーを押します。LEARNEDインジケーターがしばらく点灯します。



5. PUSH OTHER KEYインジケーターが再び点灯したら、次に操作したい信号(例えばビデオデッキの電源ON)が入っている記憶可能キーを押します。

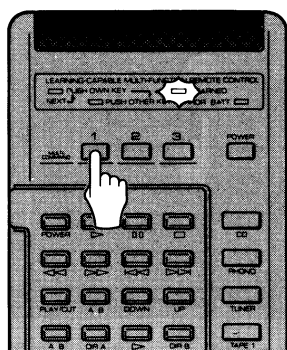


注意

ボリューム調整などの継続した信号をマルチコマンドに移した場合、マルチコマンド操作では単発の信号として発信され、ボリューム調整などは短い時間しか動作しません。

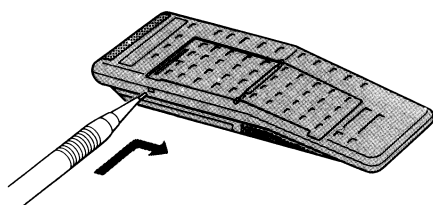
6. 5の操作を繰り返してすべての信号を^{マルチ}移し終えたら、MULTI COMMAND^{コマンド}キーを押します。

LEARNED^{ラード}インジケーターがしばらく点灯します。



信号を15個移した場合は、自動的に^{ラード}LEARNEDインジケーターがしばらく点灯します。この場合は、MULTI COMMAND^{マルチ}キーを押す必要はありません。

7. NORM-LEARN^{ラード}スイッチをNORM^{ノーマル}の位置にします。



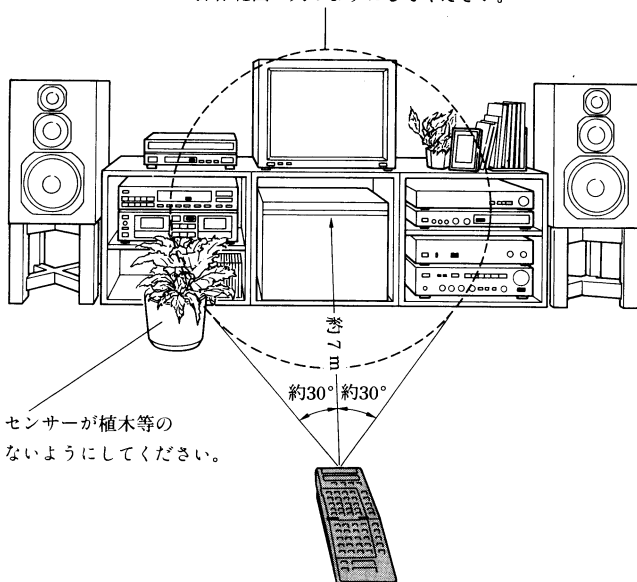
これで記憶可能キーに入っていた信号をひとつの^{マルチ}MULTI COMMAND^{コマンド}キーに移し終わりました。

以下の注意に従って操作してみてください。

●マルチコマンドの操作範囲

連続操作をさせたい機器が複数の場合、それらの機器のリモートセンサーの位置が離れすぎているか、何かの影になっていないか、また、MRX-100の向きが正しいか注意してください。

各機器のリモートセンサーが
この操作範囲に入るようにしてください。



リモートセンサーが植木等の
影にならないようにしてください。

注意

操作ができないときは次の事項をチェックしてみてください。

- MULTI COMMAND キーに移す信号が入っている記憶可能キーが単独で確実に動作するか確認してから記憶をしてください。
- 信号を移した順番が間違えていないか確認してください。信号は、記憶した順番に発射されます。
- 動作させたい機器がMRX-100からの信号を受信しても動作を開始するまでに時間がかかり、その間に次の信号が出てしまっている場合があります。このようなときは、同じ動作をする信号、まったく関係のない信号などを間にに入れて時間かせぎをするのも一つの方法です。

忘れないでください！

マルチコマンド操作が何かの原因(センサーが影になっていた、センサーから離れすぎていた、MRX-100の向きが正しくなかった等)で部分的にうまく動作しなかったときは、必ず機器をMULTI COMMAND キーを押す前の状態にセットしなおしてください。セットしないで、再度MULTI COMMAND キーを押すと、機器が予定の動作をしないことがあります。

症 状	ERRORBATT. インジケータの 表示	原 因	処 置
マルチコマンドの記憶ができない	3 回点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ MRX-100の電池が弱っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池を交換する
マルチコマンドの動作がおかしい	3 回点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ MRX-100の電池が弱っています。 ・ 個々の記憶キーでの単独動作が不正確。 ・ マルチコマンドの順序が不適當。 ・ 相手の機器のリモートセンサーが遠すぎる。 ・ 相手の機器のリモートセンサーが影になっている。 ・ 相手の機器が、連続して発信される信号（連続信号）に対して反応できない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>最初の信号で電源を入れた直後や、相手の機器がその動作を開始するまでに長い時間を必要とする場合は、次のマルチコマンドの信号に反応できないことがあります。このときは例えばアンプの入力切換えのような信号を、間に割り込ませて連発動作に余裕時間を持たせてください。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池を交換する ・ 記憶キー単独の動作をあらかじめ確認 ・ 正しい順番で再度記憶 ・ 近くで操作 ・ リモートセンサーが影にならないようにする ・ マルチコマンドの順番を工夫する

上記の表にしたがって記憶操作を何度か試してもうまくできない場合は、相手のリモートコントローラーが、MRX-100では解読できない信号方式や変調方式を使用していることが考えられます。

■仕様

乾電池	SUM-3/UM-3(単3形) 4本(合計6V)
外形寸法	74×218×35mm(幅/高さ/奥行き)
重量	240g(乾電池を含む)
付属品	SUM-3(単3形) 4本 シール 1組

■ヤマハ ホットライン サービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービスネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。(下欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※製造番号は本機底板に表示してあります。

■YAMAHA電気音響サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
TEL(011)513-5036

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

ヤマハ株式会社 〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部

TEL. (0534)60-3421

管理部サービス技術課

TEL. (0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA